

とよみ小学校 第1回コミュニティ・スクール協議会

- 1 開催日時 令和8年5月12日(火) 9:35~11:25
- 2 場所 とよみ小学校 (クラブハウス)
- 3 参加者 稲嶺可奈子、伊計徳善、与儀サエ子、宮平るみこ、仲田英安
玉城健、玉城一志、大城祐

4 会議内容

(1) 今回の会議の主なテーマ

- ・地域とともにある学校づくり

(2) 話し合いの内容

- ①学校紹介(校長)
- ②授業参観を通しての感想(各委員)
- ③学校の環境整備について
- ④特別支援教育について

(3) 決定事項、役割分担、今後の方向性(学校運営への反映に向けて)等

【校長より】

- ・体育専科・英語専科・音楽専科・理科専科がいて複数の教職員で児童への学習面、生活面での指導体制を充実させていきたい。
- ・1年生のこいのぼり集会・交通安全教室・1年生を迎える会等で一年生の緊張を和らげ安心できる環境を職員、児童共につくりあげていく。
- ・ホームページを通して学校のよさ、各学年の取り組みを通して児童の頑張っている姿を発信していきたい。

【授業参観、校内環境を参観しての感想】

- ・特別支援学級が増えている。きめ細かく指導しているなあと感じる。学習の仕方で、昔は、電子黒板・タブレットもなかった。効果的に使い多様な学びで視覚にうったえるわかりやすい。
 - ・学習では、めあて、まとめなど基本的な学習の流れがあり、わかりやすい。
 - ・学級の掲示物がきちんとされており学習の跡がわかりやすい。
 - ・全体的に落ち着いているなあと感じた。6年生が落ち着いていると全体が落ち着いているなと感じた。
 - ・掲示物が整理されているので、落ち着いているのかなと感じた。
 - ・登校支援員が機能しているのかを見させてもらいました。特別支援学級の担任が教室に入ったり、特別支援員がいたり、サポート体制の充実を感じた。
 - ・去年と今年で雰囲気が変わったような気がした。一生懸命にやっている姿が見られて安心した。
 - ・蘭の花や植物が多く飾られていて気持ちが良い環境。ところどころに花が置いてあるところがいい。展示物がきれいに展示されている。
 - ・目・耳・心で聞くというのが6年生の教室に貼られている。いい言葉をこれからも多く飾ってほしい。
- これまでは授業参観で一緒に回っていたが、今回はこのメンバーで回れたので、ゆっくり、落ち着いて参観することができた。
- ・支援を必要とする児童に周りの児童がサポートしているのは互いに支え合う雰囲気づくりとして素敵ではあるが安全面での配慮も必要。

【学校の環境整備について】

・雨降りの日、水がたまる通路がある。子どもたちに影響がある
草刈りについて

教育委員会施設課と相談しながら学校環境を整えていく。

・学校の雑草について

地域の方も、校区内の草花の手入れ、雑草抜きなど多くの活動に尽力していて、まずは児童の保護者に草の多い状況写真など現状を伝え、作業協力を呼びかけ回数を増やすなどしてはどうか。地域もがんばるから PTA もがんばらないといけない。自分たちでやろうという意識が必要かもしれない。PTA 作業に参加する人が少ない。保護者に呼びかけしながら学校、地域、保護者皆で学校環境を改善していきこうという意識を高めていきたい。

【特別支援教育について】

豊見城は比較的支援が充実していると思う。

ことばの教室は外部からも来るのか。どんな子が通っているのか。

緘黙の子などの実態を調べてみるとよい。

ダウン症の児童を子供たちが対応するのが少し安全面で気になる。

周りの児童や支援員とのかかわりについて確認が必要である。

5 次回予定 令和8年9月1日(火)

場所：とよみ小学校 時間：9：35～11：25